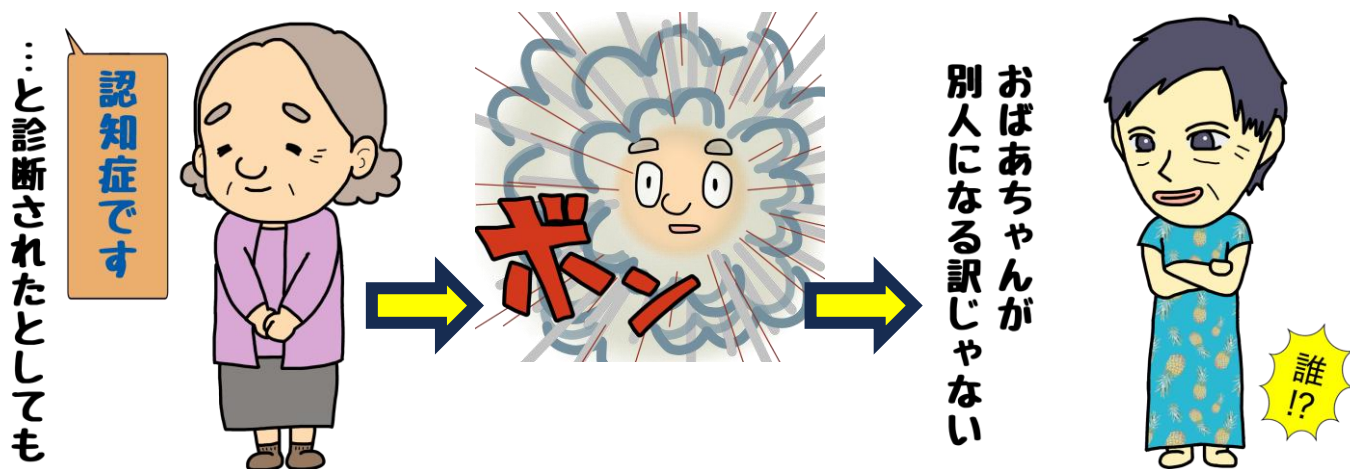


富里市 認知症初期集中支援チーム です

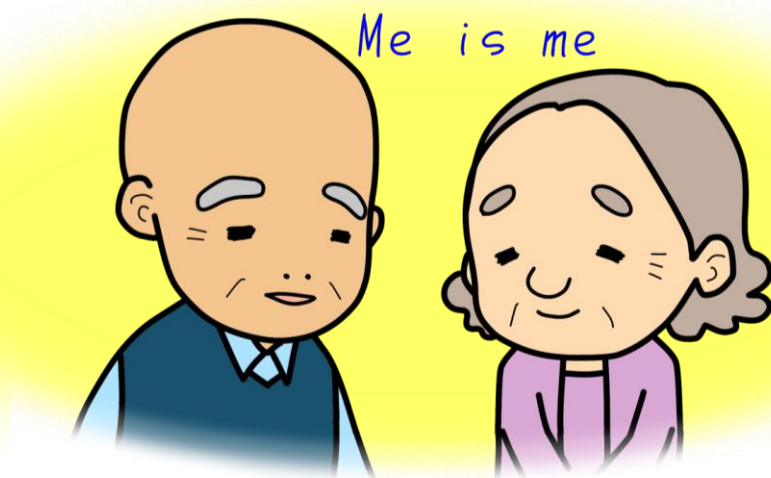
認知症基本法・重点目標①

「新しい認知症観」の理解

認知症になると人生終わり、何もできなくなる、何もわからなくなる、というような偏見、誤解を減らしていきます。



認知症と診断されたけど…
私は私。



認知症の人も1人ひとり、できること、やりたいことがあります。
生きづらさはあるかもしれないけど…
希望を持って自分らしい暮らしを続けていけます。

富里市 認知症初期集中支援チーム です

認知症基本法・重点目標②

認知症の人の意思の尊重

自分で選ぶ、自分で決める、ということを大切にします。
認知症の人のことを決めるのに、認知症の人抜きで考えません。

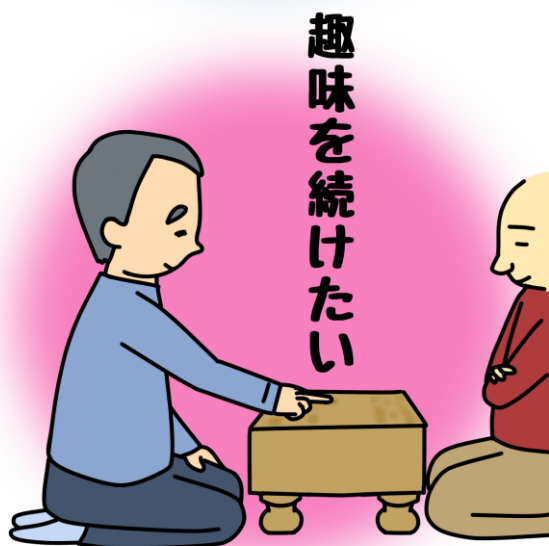


買い物もできる



家族のご飯を作りたい

料理もできる



趣味を続けたい



仕事を続けたい

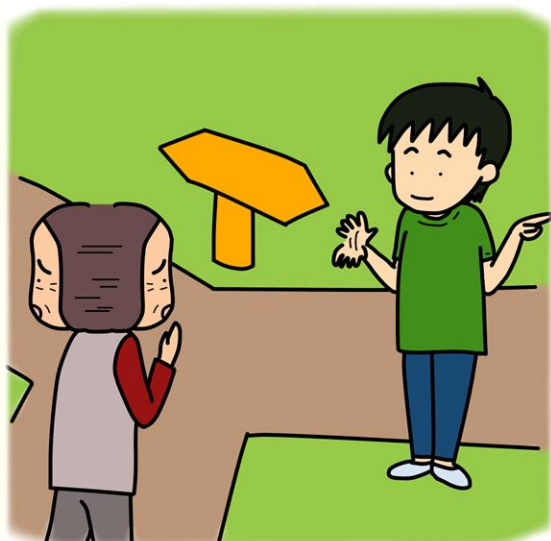
例えば、今日着る服を決める、といった小さなことでも、
本人の意思の尊重です。
また、認知症の人たちが集まり、自分たちの気持ちや困りごと、
希望などを話し合う『本人ミーティング』という場もあります。

富里市 認知症初期集中支援チーム です

認知症基本法・重点目標③

認知症の人・家族等の地域での安心な暮らし

認知症の人が孤立することなく、地域で安心して暮らしていけるような環境づくりです。



案内や表示が、わかりやすいものだったり、公共機関やお店の人が、ゆっくりと話してくれたり、理解者が増え、見守りの目があると安心して暮らすことができます。

認知症の人と接する機会の多い業種には「認知症バリアフリー社会実現のための手引き」が作成されています。

認知症基本法・重点目標④

新たな知見や技術の活用

認知症の人や家族の意見を反映させた研究開発を推進し、その成果を実際の生活に活かすことを目指しています。

「新しい認知症観」を理解し、人格や個性を尊重し
支え合う共生社会へ